

3月26日(火)		
9:30-9:40	廣井 善二 (東大物性研)	所長挨拶
9:40-9:50	高木 里奈 (東大物性研)	趣旨説明
9:50-10:15	藤野 智子 (東大物性研)	分子軌道のデザイン:ドナーとアクセプターの融合したら...
10:15-10:40	吉見 一慶 (東大物性研)	大規模計算機を活用した物質設計・機能探索に向けたフレームワークの構築
休憩20分		
11:00-11:25	三輪 真嗣 (東大物性研)	分子スピントロニクス未来
11:25-11:50	佐藤 拓朗 (分子科学研究所)	有機キラル超伝導におけるスピン三重項混成
11:50-12:15	中 惇 (東京電機大学)	有機交替磁性体の交差相関
休憩60分		
13:15-13:40	横田 知之 (東京大学)	有機半導体を用いたフレキシブルセンサ応用
13:40-14:05	玉井 康成 (東大新領域)	有機光電変換デバイスの開発と分光学的研究
14:05-14:30	須田 理行 (京都大学)	キラルファンデルワールス超格子によるキラル物性の開拓
休憩20分		
14:50-15:15	坏 広樹 (大阪大学)	分極有機導体
15:15-15:40	須波 圭史 (産総研)	光電融合技術の基盤となる高性能電気光学材料としての有機強誘電体
15:40-16:05	小林 拓矢 (埼玉大学)	部分的にセレン置換したBEDT-TTF系有機導体の開発
休憩20分		
16:25-16:50	圓谷 貴夫 (熊本大学)	第一原理計算でひも解くトポロジカル物質のバルク・表面電子状態と熱電特性
16:50-17:15	岡本 佳比古 (東大物性研)	一次元ファンデルワールス結晶の物質開拓と熱電特性
17:15-17:40	井手上 敏也 (東大物性研)	ファンデルワールスヘテロ界面のデバイス物性

3月27日(水)		
9:30-9:55	井上 悟 (東京大学)	層状有機半導体の長鎖アルキル置換効果
9:55-10:20	荒井 俊人 (物質・材料研究機構)	有機トランジスタの高効率キャリア輸送に向けた分子配列制御
10:20-10:45	渡邊 峻一郎 (東大新領域)	有機二次元正孔ガスの物性とデバイス応用
休憩20分		
11:05-11:30	井口 弘章 (名古屋大学)	ナノ細孔を有する分子性導体の開発
11:30-11:55	浦谷 浩輝 (京都大学)	有機薄膜太陽電池におけるエキシトン解離過程の実時間シミュレーションと可視化
11:55-12:20	筒井 祐介 (京都大学)	新規ヘテロヘリセンの光物理過程について
休憩60分		
13:20-13:45	田縁 俊光 (東大物性研)	グラファイトにおいて薄膜デバイス化がもたらす強磁場誘起電子物性
13:45-14:10	田中 未羽子 (東大物性研)	Kinetic inductance measurement of magic-angle twisted bilayer graphene
14:10-14:35	古川 哲也 (東北大学)	有機磁性体・有機ディラック電子系における熱伝導・熱電物性
14:35-15:00	橋本 顕一郎 (東大新領域)	(EDO-TTF-I) ₂ ClO ₄ におけるアニオン自由度による逐次相転移: スピン分裂を伴う補償フェリ磁性の可能性
休憩20分		
15:20-15:45	浦井 瑞紀 (東大物性研)	三角格子を有する分子性物質の核磁気共鳴を用いた磁性研究
15:45-16:10	杉浦 栞理 (東北大学)	量子デバイス応用の可能性を持つ超伝導渦糸状態の伝導ノイズ測定による観測
16:10-16:35	今城 周作 (東大物性研)	量子有機エレクトロニクスに向けた強相関電子物性とその計測技術
16:35-17:00	大池 広志 (東京大学)	強相関電子系が内包する分野横断的概念